

令和7年度 第3学年 国語科 年間指導計画・評価規準

月	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	春に	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	すすんで表現の仕方について読み、学習課題にそって評価しようとしている。
	立ってくる春	文章の種類とその特徴について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	すすんで表現の仕方について捉え、学習課題にそって評価しようとしている。
	なぜ物語が必要なのか	文章の種類とその特徴について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
5月	【話す聞く】 情報確かめてスピーチをする	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。
	私	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	粘り強く、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
	薔薇のボタン	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	本文から捉えたことをもとに、積極的に自分の考えを伝えようとしている。
6月	【話す聞く】 構成を工夫して主張をまとめる	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。	相手を説得できるように、すすんで論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって主張しようとしている。
	メディア・リテラシーはなぜ必要か？／新聞が伝える情報を考える	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
	漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		積極的に繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
	文法の小窓1 助詞のはたらき 文法(解説)1 助詞のはたらき	助詞の働きについて理解している。		すすんで助詞に興味・関心を抱き、粘り強く助詞の種類と働きを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に生かして、学習の見通しをもって適切に表現・理解しようとしている。
7月	AIは哲学できるか	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。
	【書く】 客観性や信頼性のある記事を書く	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に集めた情報の客観性や信頼性を確認し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。
	漢字の広場2 熟字訓	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		すすんで繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
	言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 言葉(解説)1 和語・漢語・外来語	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		粘り強く言葉の特徴や使い分けを理解し、学習課題にそって効果的な使い方を考えようとしている。
9月	async——同期しないこと 問いかける言葉	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて話し合おうとしている。
	【書く】 説得力のある批評文を書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。	
10月	文法の小窓2 助動詞のはたらき 文法(解説)2 助動詞のはたらき	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。		積極的に助動詞に興味・関心を抱き、助動詞の働きを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
	実用文の情報を捉えて生かす	話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	積極的に必要な情報を精査・解釈し、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。
	言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現 言葉(解説)2 相手に対する配慮と表現	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。		粘り強く相手や場に応じた言葉遣いを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
	旅への思い	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについての理解に粘り強く取り組み、今までの学習を生かして、考えたことを説明しようとしている。
	和歌の調べ	長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを積極的に説明しようとしている。

令和7年度 第3学年 国語科 年間指導計画・評価規準

月	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11月	風景と心情	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。
	最後の一句	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方について評価している。
	漢字の広場3 異字同訓	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		これまでに学習した漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
	言葉の小窓3 慣用句・ことわざ 言葉(解説)3 慣用句・ことわざ	慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。		粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代や国による言葉の違いを慣用句とことわざを通して理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
	俳句の味わい	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。
	初恋	文章の種類とその特徴について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
12月	故郷	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	「読むこと」において、文章の種類や構成について評価している。
	【書く】 自己PR文を書く	話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	粘り強く目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、学習課題にそって自己PR文を書こうとしている。
	【話す聞く】 評価しながらスピーチを聞く	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。	積極的に聞き取った内容や表現の仕方を評価して、学習課題にそってスピーチを聞こうとしている。
	漢字の広場4 四字熟語	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		四字熟語の構成や意味を理解し、すすんで調べたり短文を作ったりしようとしている。
1月	持続可能な未来を創るために ——人間の生命・存在を考える／ 生命とは何か／ 地球は死にかかっている／水の星	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
	【話す聞く】 意見を共有しながら話し合う	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	積極的に相手や場に応じた言葉遣いを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
2月	【書く】 中学校生活をまとめて作品集を作る	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	積極的に情報と情報との関係について理解を深め、今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。
3月	パースディ・ガール	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。	すすんで文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価し、学習課題にそって、考えたことを伝え合おうとしている。
	青春の歌	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして批評しようとしている。
	やわらかな想い	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	すすんで表現の仕方について読み、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。

国語(書写)

月	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4～12月	一 行書と仮名を調和させて書くこと 1 行書と仮名の調和と「美しい自然」 点画の連続を理解して書くことができる。 配列を理解して書くことができる。	点画の連続や配列の書き方、字形を整えて速く書くことを理解している。 点画の連続や配列の書き方を理解して、字形を整えて速く書いている。	点画の連続や配列の書き方を確かめ、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。
	一 行書と仮名を調和させて書くこと 2 学習を生かして書く -配列- 『おくのほそ道』 行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	行書と仮名を調和よく書く書き方をよく理解している。 行書と仮名を調和よく、字形を整えて書いている。	行書と仮名を調和よく書く書き方を確かめ、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	行書と仮名を調和よく書く書き方に興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。
2・3月	二 身のまわりの多様な表現をと おして文字文化の豊かさにふれ、 効果的に文字を書くこと 1 多様な表現による文字 身のまわりで見かける、文字のも つ表現効果について考えることが できる。	文字の表現効果を、生活に生かすことについて理解している。	文字の表現効果を、生活に生かすことについて考えている。	文字の表現効果を、生活に生かそうとしている。
	二 身のまわりの多様な表現をと おして文字文化の豊かさにふれ、 効果的に文字を書くこと 2 三年間の学習の成果を生かそう 3年間の学習を生かして効果的に書 き、日常生活に生かすことができ る。	楷書や行書の筆使いや字形を理解して、筆記具を選択し、配列を整えて書くことを把握している。 楷書や行書の筆使いや字形、筆記具、用紙を的確に選択し、配列に気をつけて書いている。	楷書や行書の筆使いや字形、筆記具、用紙を的確に選択している。	自己の課題解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
12・1月	書き初めを書く	筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。 行書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。	紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。	中学校での書写学習のまとめとして行書について理解を深め、自己の課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。